

# おお大勝利

平成 29 年度山東サッカー部報第 1 号 (4 月 9 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 春の関東遠征を終えて

いよいよ 2017 年シーズンが始まります！

この部報が続行されているということは・・・部報作成者である顧問（私）が異動せず、残留したということです。皆さま、今年も山東サッカー部並びにこの部報（そしてこの部報を UP して下さっている後藤報道局長編集の山東サッカー後援会 HP）を宜しくお引き立てのほどお願い申し上げます。

さて、雪解けとともにピッチでの活動も再始動し、学年末テスト・高校入試の中断を経て、いよいよ 3 月後半からシーズン入りに向けた準備が本格化しました。山南との練習試合を皮切りに、山工との炎の 3 連戦、城北、寒河江工業、山形中央、山商と練習試合をし、冬場のトレーニングの成果を確認しつつ、チーム作りを進めました。新入生でも 3 月から顔を出す選手も見られ、**オサことオサイリス<sup>1</sup>**と**ノビーニョことヨシノフ**が関東遠征前からチームに合流。チームに新風を吹き込み、先輩たちのお尻に火をつけました。

そして、**3 月 26 日からは 5 泊 6 日で関東遠征**。新 2 年 3 年で選手 23 名、マネ 2 名、計 25 名で活動している山東としては、AB2 チームを大会に参加させるには人数が足りない。ということで、近年頼りにしているのは、OB と新入生。ただ、新入生が何人遠征に参加してくれるか直前まで読めないこともあり、なかなか人数計算が難しい。

昨年は、OB2 名・新入生 2 名をアウトソーシングしましたが、現役生（今年と同様選手 23 名）に故障者が出ず、OB はあまりプレーせず、もっぱら宿舎に帰ってから今野との懇親会をしてばかりいました。そうした去年の経験に合わせ、今年は正月の埼玉遠征・冬場の合宿にて予算オーバーしてしまった事情があり、春の関東遠征にて OB にヘルプの声掛けをせずにいました。

しかし・・・関東遠征に参加してくれる新入生がオサ一人と、近年で最少となったこともあり、直前になって「B 戦成り立つだろうか」と焦っていました。そんな焦りのぼやきを、合格を決めて職員室に挨拶に来てくれる OBOG や、予備校に行くことが決まり一年間頑張る決意を述べに来てくれる OBOG にしてしましたら、「**ほく行っていいですか**」と救いの手を差し伸べる **OB が一人現れた。その名も、皆さんご存じのサッカー馬鹿ユート**。昨年選手権まで一人残ってサッカーをし、受験に向かったが志望を達成できず、予備校に行くことが決まった<sup>2</sup>。や

<sup>1</sup> とうとう山東サッカー部も国際化の時代を迎えました。オサイリスとは本名です。ガーナ系のオサ（山形 FC 出身）が山東に合格し、早めに活動に参加してくれました。まあ、これまでも山東では、ネイマールとかムンタリとか、古くはメッシとか、国際色豊かな（名前の）選手を輩出してきましたし、名前だけではなく、黒豹ことリキなどの国際的な（風貌の）選手を輩出してきましたが、いよいよ本格的に国際化の時代を迎えました。

<sup>2</sup> 選手権まで残ったから勉強が不足して落ちた、というまとめは、当たらないとあえて言っておきたいと思います。ユートは部活動勉強を両立させ、正直 7 月に引退した 3 年生よりも勉強は伸びました。立派だったと思います。

たらとリーグ戦や県総体など後輩の試合を楽しみにしており、リーグ戦など毎節応援に来かねない感じなので、「お前、予備校に行ったら、山東の試合とか来ずに勉強しろよ。県総体くらいは来てもいいけど」などと会話している中で、関東遠征の話に。「人数足りないんだよ」とぼやきつつ、ノリで「ユートがいるじゃないか」と振ると、**キラーンと目が輝く**。「行ってもいいんですか?」。とまあ、こんな話から、4月に予備校に通い始めたら（山東の活動にフラフラ顔を見せずに）勉強に集中するという約束の下、OBユートの参加決定<sup>3</sup>。ということで、**新入生オサとOBユートの二人の力を借りつつ、遠征出発**。

まずは、茨城県波崎で2泊。「関東は暖かいだろう」と舐めていましたが、普通に寒い。ベンチコートを持ってきて良かったことを実感させる初日。不安定な試合ながら、まずまずチームの状態が上向きなことを実感させる。**二日目は暴風警報発令**。雨風が宿舎に突き刺さっている。午前中の日程の中止が決まったが、大会運営側は午後はやるとのこと。「まじか・・・でも相手チームもいるしな。ここはひとつ、甘えた気持ちを断ち切ってピッチへ向かうか」と気持ちを無理やり試合へと持って行く。この日のピッチは、前日同様、宿舎から歩いて行ける徒歩10分ほどの会場。ですが、この日は、しばしば突風が吹き、強烈な雨を突き刺すものだから、**普通に前を向いて歩けず、何度か後ろを向いて突風をやり過ごしたり、後ろを向きながら歩く**。倍の時間はかかったか。ともかく、ずぶ濡れになってやっと会場到着。すると、大会運営側の担当の方がピッチにいて、「どうされますか?（こんな状況でやりますか?）」と聞いてくる。おいおい、そういう話なら、宿舎に連絡してくれよ～。だったら、ずぶ濡れになる前に、「こんな強風、豪雨なのでやめにしましょう」と言えたじゃないか、と落胆。でも一応相手チームもいるので、「相手次第で（やってもやらなくてもいいですよ）」と**得意の責任転嫁のパス**を通すと、「相手チームもそうおっしゃってまして」とすぐリターンパス。結局、相手チームと直接話し合い、「ここまで来たので2試合の予定を1試合にしつつ実施しましょう」ということに。で、試合をしたのですが・・・人工芝でも田んぼは田んぼ。ボールが全く転がらない。水しぶきをあげながら、肉弾戦が繰り広げられる。途中から、雨はみぞれへ、そして雪へと変わってきた。寒いこと尋常じゃない。ベンチコートの中も当然濡れているし、靴もびしょ濡れで、観るのもつらい。**当然、やる方はもっとつらい**。試合に出るために上着を脱ぐのをためらう選手に対して、「こんな環境でなかなかやれないから、思い出作りにやって来い」と背中を押すのが精一杯。大変な一日でした。三日目は打って変わって晴天。ピッチに行ってみると、**一昨年、ムンタリが重傷を負ったのと同じピッチ**であることに気付く。「何か嫌な予感がするな～」と思い、一昨年とは逆のベンチに位置取って、流れを変えてみる。一昨年に新入生として参加した選手にその話を振ると、「あれはムンタリさんに悪いことしました。僕のパスが長過ぎて、ムンタリさんがGKと交錯したんです」と振り返った**新3年カイト**。あのパスはカイトからだったんだ～などと回想する。AはボランチとCBのコンビネーションが良く、守備はまずまず安定。このチーム、攻撃面はある程度計算できるのですが、守備面が不安だった。**予想以上に選手が成長している!**ただ、BではAとの開きの大きさを感じる事が多く、Aを突きあげるBの勢いは潜めたまま。Aの2試合目、埼玉のとあるチームと対戦したのですが、これまでも何度もお世話になっているチームで、(ムンタリが怪我した)2年前の波崎では**タイチ**のスーパーシュートが決まるなど2点先制してから7点くらいぶち込まれた相手。「これに勝てば2年前のチームを超えたことになる」などと思い試合を眺めると、同様に2点先制。そして、後半完全に崩され1点返され、その後の流れも悪いものに。「やはり2年前の再来か」と覚悟しました

<sup>3</sup> しかも、これまでのOBの参加のように、宿泊費等経費を現役生が持ち謝礼も出るというOB待遇ではなく、新入生同様ほとんどの実費を払っての参加・・・。

が、このチームに粘り強さが付いてきた！！ そのままのスコアで勝利し、**2年前のチームを  
まず超える。**

28日夕から千葉に向かい、翌日から千葉の大会に参加。千葉でもAは好調。特に、DFからのダイレクトなボールがスペースを狙うトップや左右のアタッカーに渡り成立する速い攻撃と、ボランチ等がボールを左右に振りつつインサイドからドリブル等で迫る攻撃との両方ができていて、心強い。故障者が出つつあるが、守備でも球際の厳しさを見せている。30日の**市立千葉さんには、後ろからの的確なビルドアップと前線の速さに苦しめられつつも、何とか粘り相手攻撃を防いでいる。**何本か危なかったですが、「攻められているが（決定的なシュートを）打たせていない」時間も多く作っており、最後の粘りが効いている。千葉などの強豪県では、ベスト8以上などに勝ち上がりはしていないが巧いし強い市立千葉さんのようなチームがゴロゴロしているのがスゴイ。山形で「巧い」などとはやし立てられている選手がいかにも井の中の蛙か、感じさせられる。最終日は、近年いつもお邪魔している茂原北陵さん。千葉の私立ではもはや当たり前の感のある人工芝ピッチを有する。この試合、例年と違って、山東のシュートチャンスの方が多い。でも外す。GKの圧力か、山東の選手、ゴールの左右に外すシュートミス多し。ともかく**山東、少しずつではあれ、しっかり地力が付いてきたことを実感する試合を北陵さん相手にもできました！**

大きな怪我なく、成長を実感し、かつ成熟を期す遠征を過ごすことができました。**ユート**は、自分の好きなポジションでの出場は短かったと思いますが、一生懸命プレーしてくれました。ありがとう。これで心おきなく受験勉強に向かいたまえ。新入生の**オサ**は、まだまだ受験勉強での体のなまりは取れていないものの、キラリと光るプレーは多々ありました。**これから先輩たちを脅かす選手に早くなってほしい。**大会関係者の皆さま、対戦相手の皆さま、宿舎の皆さま、そして、急遽会場変更しても笑顔で対応して下さった**蔵王観光バスのドライバー佐藤さん**、ありがとうございました。

いよいよ、リーグ戦が始まり、シーズンインです。目標としてプリンスリーグ東北への昇格は非現実的であり、残留がシーズン通してのリーグ戦の目標になりますが、前期は3年生もおり、言い訳はできない。**例年の通り、前期優勝を目指し、リーグ戦を戦います。**応援よろしくお願ひします。

**4月15日(土) Y1第1節 VS 米沢中央 A 13:00~ @山形市球技場**